

A narrow alleyway with blue walls and potted plants. The scene is brightly lit, with shadows cast on the walls. In the background, there are blue steps leading up to a doorway with a decorative window. The overall atmosphere is vibrant and colorful.

ワーケーションの動向

2022年4月25日

フレックスプレイス研究会
関西大学社会学部・松下慶太



松下慶太

神戸出身。京都大学・大学院。博士（文学）

関西大学社会学部メディア専攻教授。

東京と関西との2拠点生活。

専門はメディア論。メディア・テクノロジーと
生み出す新しい場所の意味や経験について研究。



ワーケーションと働き方の未来



2019



2021

ワーケーション 企画入門

選ばれる地域に
なるための
受け入れノウハウ

松下慶太

WORKATION!

30地域・企業・個人の実践から学ぶ、
関係人口、産業振興、
コミュニティを踏まえた
持続的なワーケーション
企画・事業のつくり方

観光・宿泊、
交通事業者、
行政担当者

必携!

学芸出版社

2022

新しいワークスタイルの文脈

天

DXなどデジタル化

メタバースやAI、ロボットなど

人

人材の確保・育成

健康経営、ダイバーシティ、自律型人材など

地

地域・地球への働きかけ

環境経営、カーボンニュートラル、SDGsなど

ワーケーション1.0からワーケーション2.0へ

ワーケーション 1.0

ワーケーション 2.0

気晴らし・娯楽のレクリエーション	レクリエーション	Re-Creation（再創造）
代替・穴埋め	観光の	再定義
観光客（交流人口）	ワーカーの位置づけ	関係人口
単発・短期間	滞在	継続/連続・比較的長期
消費する人	接し方	パートナー
生産性向上：ワークスタイル	仕事において	刺激・転機：ライフスタイル
交流	地域との関係	価値創造
寛容さ	地域が提供するもの	関わりしろ

ワーケータの類型とその政策・支援の勘所

←HR戦略→

週休3日制、居住地制限撤廃など

城の崎にて

日々旅にして旅を栖とす

いざ鎌倉

都市型ワーカー

都市8：地域2

都市在住者

移動型ワーカー

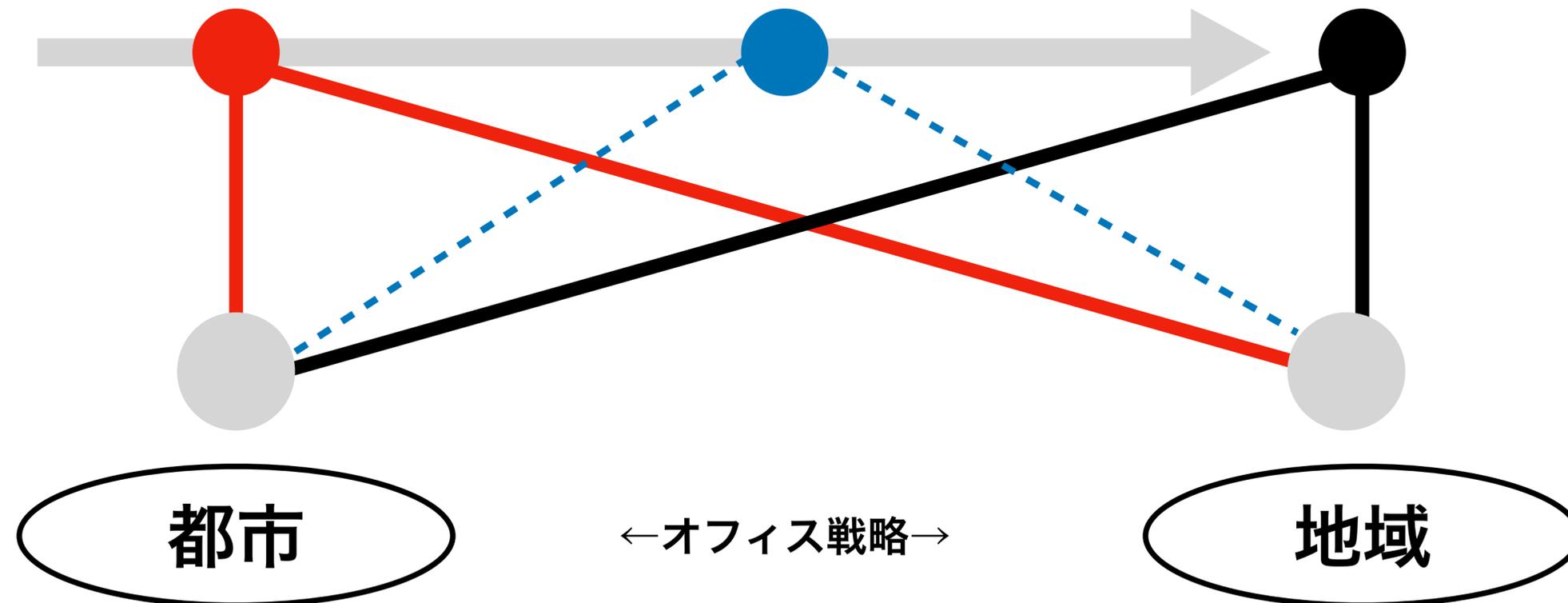
都市5：地域5

多拠点居住者

地域型ワーカー

都市2：地域8

移住者



週休3日制へのチャレンジ

日本経済新聞

朝刊・夕刊 LIVE Myニュース 日経会社情報

トップ 速報 オピニオン 経済 政治 ビジネス 金融 マーケット マネーのまなび テック 国際 スポーツ 社会・調査

パナソニック、週休3日制を導入へ 楠見社長が表明

働き方改革 + フォローする

2022年1月6日 17:36

保存



Think! 多様な観点からニュースを考える

為末大さん他2名の投稿



パナソニックは6日、希望する社員が週休3日を選べる制度を導入する方針を明らかにした。対象となる社員や開始時期などは今後詰める。副業や学習、地域ボランティアなど会社外での取り組みを推奨し、社員が働きやすい環境づくりを進める。

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUF062TF0W2A100C2000000/>

日立やNEC、人材獲得の切り札は「週休3日」

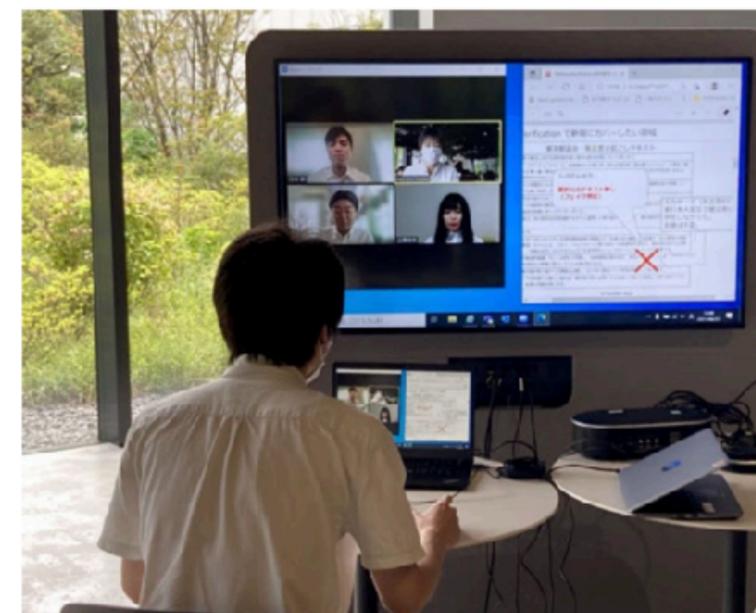
2022.4.19

2件のコメント

西岡 杏 他1名
日経ビジネス記者

ギフト 印刷 クリップ

日立製作所は2022年度中にも週休3日を可能にする新たな勤務制度を導入する。NECやパナソニックホールディングス（HD）も検討中だ。電機・IT（情報技術）業界で「週休3日」導入が広がる背景には、人材の激しい獲得競争がある。



日立製作所は時間ではなく成果を重視する雇用の仕組みを整える（写真は日立のジョブ型インターンシップの様子）

「子供の学校行事に参加しやすくなる」「リスキリング（学び直し）に挑戦する」――。日立製作所で働く従業員はこれから始まる新しい働き方を心待ちにする。2022年度中にも、3.75時間だった1日の最低勤務時間

<https://business.nikkei.com/atcl/gen/19/00112/041800071/>

第2のふるさとづくりプロジェクト（観光庁 2022～）

「第2のふるさとづくりプロジェクト」モデル実証事業採択一覧

No.	申請団体名	事業名	対象地域
1	北国からの贈り物株式会社	北海道・国立公園の町で『食住遊働』コンセプトによるどさん子育成プログラム実証事業	北海道川上郡弟子屈町
2	福島市フルーツラインエリア観光推進協議会	福島市産の蚕の糸が結ぶ文化と人～シルクロードが導く新たなふるさとづくり～	福島県福島市
3	一般社団法人ばんだい振興公社	農泊就労体験×DX戦略×バケーションで創出する第2のふるさと	福島県磐梯町
4	那須エリア・ネイチャーツーリズム協議会	ネイチャーツーリズムを軸に那須エリアの流動人口を増やす「オンライン・オフラインハイブリッド型」ファンマーケティング実証事業	栃木県那須郡那須町
5	一般社団法人秩父地域おもてなし観光公社	年間300日以上祭りを開催！地域の象徴「祭り」をハブにコミュニティをつなぐプロジェクト	埼玉県秩父市ほか
6	東武鉄道株式会社	都市近郊における『第3の学びの場』モデル形成実証事業	埼玉県比企郡小川町
7	一般社団法人佐渡観光交流機構	スローネイバーフッド佐渡×東京プロジェクト	新潟県佐渡市
8	一般社団法人雪国観光圏	「地域に何度も通う旅・帰る旅」を持続可能かつ再現性高く実現するためのカスタマー・プラットフォームづくり（CRM基盤）および関係性構築人材の育成プロジェクト in 雪国観光圏	新潟県南魚沼市ほか
9	日本海3県市民アンバサダー推進協議会	市民アンバサダー×地域の案内人コミュニティが紡ぐ、美食地質学と第2のふるさとを探る旅事業	富山県、福井県、鳥取県

第2のふるさとづくりプロジェクト（観光庁 2022～）

10	一般社団法人下呂温泉観光協会	旅人と地域の人繋がり続ける新たな旅の創出「ミートアップ下呂温泉郷」事業	岐阜県下呂市
11	一般財団法人京都ゼミナールハウス（あうる京北）	“京北エシカルヴィレッジ”構想～ギフトエコノミー（贈与経済）の開発による地域貢献型交流の創造～	京都府京都市右京区
12	一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会	地域に通う、心が通う、課題解決型ラーニングツーリズム事業	京都府南丹市美山町
13	鳥取県	はじめまして＆おかえり鳥取プロジェクト ～人口最少県の生き残りチャレンジ～	鳥取県鳥取市ほか
14	島根観光共同企業体設立準備協議会	「しまね版SDGsの旅」から始まる何度も島根に通う旅、帰る旅の実現	島根県松江市ほか
15	久喜銀山振興協議会	埋もれた価値を掘り起こそう！久喜銀山から始まるコミュニケーションツーリズム創出事業	島根県邑南町
16	瀬戸内ワークス株式会社	地域に「役割（働く・学ぶ）」を。関係地を作る瀬戸内Life Experience	香川県三豊市
17	東峰村	「もう一つのふるさと＝感幸地・東峰村」を目指した、屋外宿泊型滞在コンテンツ開発及び事業者連携スキームの構築	福岡県朝倉郡東峰村
18	ラーケーション阿蘇推進協議会	ラーケーション阿蘇（Learning Vacation Aso=LVA）のファン構築事業	熊本県南阿蘇村
19	日本航空株式会社	沖縄県やんばる3村 「コンシェルジュが来訪者と地域を繋ぎ、一緒につくる第2のふるさと」	沖縄県国頭村ほか

第2のふるさとづくりプロジェクト（観光庁 2022～）

第2のふるさとづくりプロジェクト（「何度も地域に通う旅、帰る旅」）

【別紙2】



- インバウンドが本格的に回復するまでには時間がかかるため、国内観光需要の掘り起こしが必要。
 - 新型コロナウイルス感染症の影響により、密を避け、自然環境に触れる旅へのニーズが増加。また、大都市にはふるさとを持たない若者が増え、田舎にあこがれを持って関わりを求める動きも存在。
 - こうした新しい動きも踏まえ、働き方や住まい方が流動化している今、
 - ① いわば「第2のふるさと」を作って、「何度も地域に通う旅、帰る旅」という新たなスタイルを推進・定着させ、
 - ② 地域が一体となって「稼げる地域」とし、地域活性化を図りたい。
- ⇒ 令和4年度、モデル実証を展開し、実践を通じ更に課題を見出し、次年度以降の事業に活かしていく。

① 滞在コンテンツ

お手伝い型なりわい観光コンテンツ提供

（三重県鳥羽市）

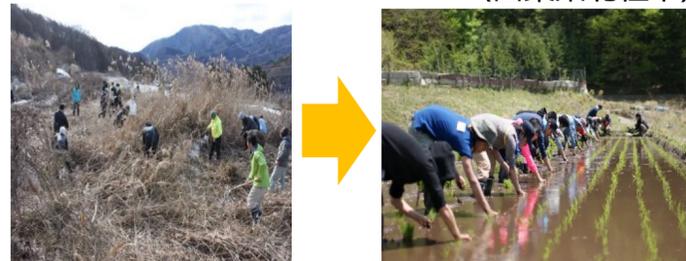


人材不足に悩むワカメ漁 ⇔ 社会貢献をしたい都市部人材

➡ 体験にとどまらず、「第2のふるさと」化

地域の課題解決に参画するコンテンツ提供

（山梨県北杜市）



○多世代が集う社員研修の中で、地方部でコメ作りに参画
○荒地の整備から田植え、収穫までを経験。

➡ 地域の課題解決参画により、「第2のふるさと」化

② 滞在環境

古民家活用による魅力的な滞在環境提供

（兵庫県丹波篠山市）



○古民家を活用し、宿泊、飲食等を通じて限界集落を再生
○マルシェ等により新たな交流を創出し、魅力的な生業・居住環境等を提供

港町の個性豊かな空き家群を面的に再生

（広島県尾道市）



○地域に多数存在している問題になっている空き家を改築し、地域の生活感ある新しい宿泊の受け皿を用意し、柔軟な滞在環境を提供

③ 移動環境

鉄道運賃 + 宿泊サブスクリプション



○ J R 西日本と㈱KabuK Styleが提携
○交通運賃割引・宿泊施設のサブスクにより、新たなライフスタイルを推進する実証事業を実施

日本初の観光型MaaS「Izuko」

MaaSを通じて提供しているサービス



○伊豆の旅行において、鉄道、バスのほか、A I オンデマンド乗合交通、レンタカー、自転車等目的地までの最適ルート検索、予約・決済が可能なシステム

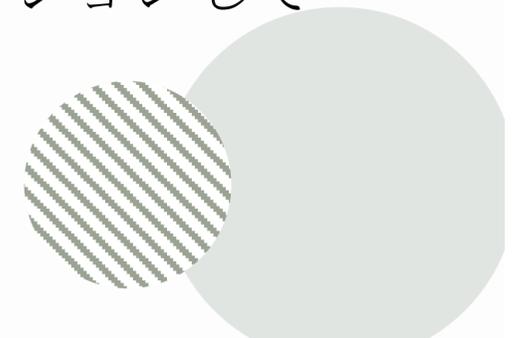
中国におけるデジタルノマド事情



2021年12月に開設したばかりの
安吉デジタルノマドコミュニ
ティ (Digital Nomad Anji、省
略DNA) は、中国初のデジタルノ
マド向けの総合コミュニティで
ある。

Co-working + Co-living = DNA

上：浙江省安吉にある竹木の加工工場。
下：この廃工場をリノベーションして
作ってきた。



中国におけるデジタルノマド事情

DNA設立者の一人である徐さんにより、このような場所を作る初心は「田舎づくり」ということ。安吉県は、中国の田舎の模範的な代表になったのは決して偶然のものではない。なぜならそこには独特の優位性と伝統が備わっているからだ。

「第14次五カ年計画と2035年までの長期目標綱要は、浙江省の質の高い発展を支援して共同富裕モデルエリアを建設することを打ち出した。

人口5850万人の中規模省としての浙江省は、地域総生産（GDP）が1994年から17年連続で全国4位を保ち、面積は全国ランキングで後ろの方だが、様々な地形があり、その中で多様な都市・農村（田舎）モデルを育んできた」（人民網, 2021）

共同富裕モデル

中国におけるデジタルノマド事情

人材確保

徐さんによると、「伝統的な田舎」から「活力ある田舎」への転換の鍵は、人材確保にあり、そして、誰もが憧れる詩的な「理想の田舎暮らし」にすることである。

3月までデザイナー、カメラマンやプログラマーなど様々な職業をやっている40人以上のデジタルノマドが集まっている。

DNAの近くにあるイノベーションセンター（Anji Creative & Design Center, ACDC）もこれからの地域活性化や田舎づくりに大切な役割があるため、デザインに関わる職業をやっているデジタルノマドが一番求められているようである。

中国におけるデジタルノマド事情

「この美しい**自然環境**や田舎ののどかさがインスピレーションを与えてくれる。」



「ここで同じ志を持つ人たちと出会い、一緒に自分のアイデアと経験を**共有**したり、さらに価値観や人生の意味など**深い話**もできたりしている」

中国におけるデジタルノマド事情



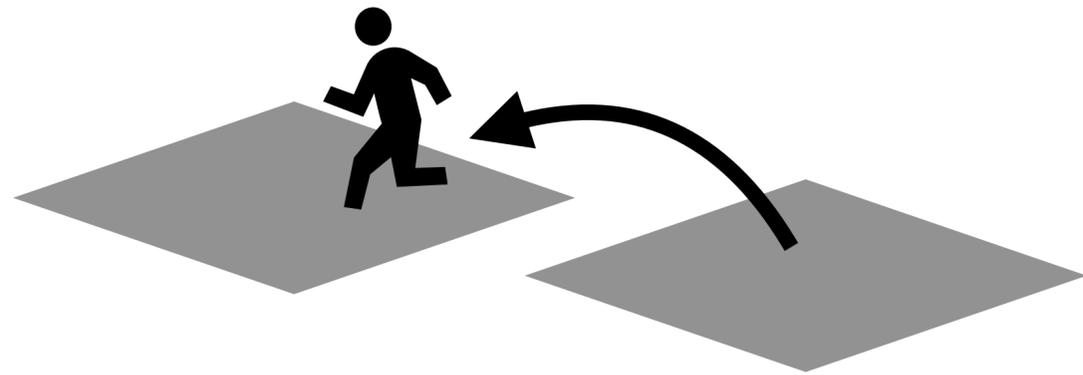
中国の都市部で生活する人の数は9億人以上に達している。専門家は、「中国全土で今後、都市化がほぼ実現した後も、約4億人が農村・田舎で生活することになる」と分析している。

- 農村部の「自己発展機能」向上がキーポイント
- 公共サービスを農村部へ拡大

参考資料：

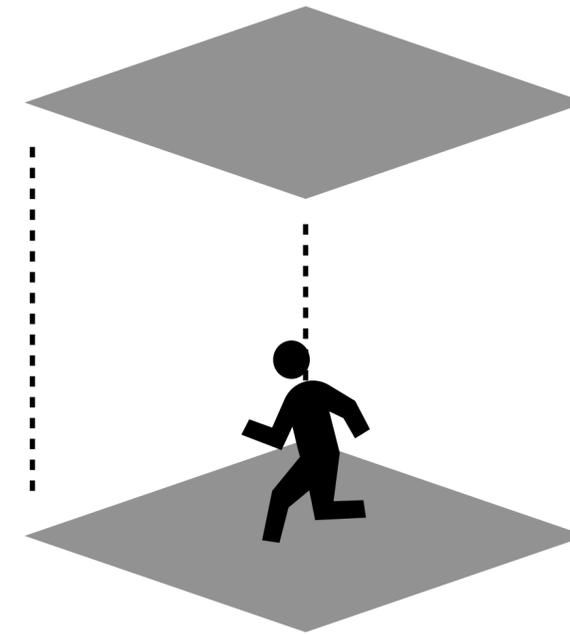
1. 人民網日本語版. “なぜ浙江省で共同富裕モデルエリアを建設するか?”. 人民網. 2021-04-22.
<http://j.people.com.cn/n3/2021/0422/c94476-9842280.html>
2. 人民網日本語版. “中国、都市化実現後も農村に暮らす人口が約4億人”. 人民網. 2022-04-02.
<http://j.people.com.cn/n3/2022/0402/c94475-10079595.html>
3. DNA数字遊民.” 我們在浙江鄉下為数字遊民改造了一棟房子，然後等妳來”. 安吉数字遊民公社. 2021-12-02.
https://mp.weixin.qq.com/s/k_RKrUhj-huDygMBB20u-g

Superimpose（重ね合わせ）の経験デザイン



越境モデル
(移動メタファー)

越境学習、アンラーニングなど

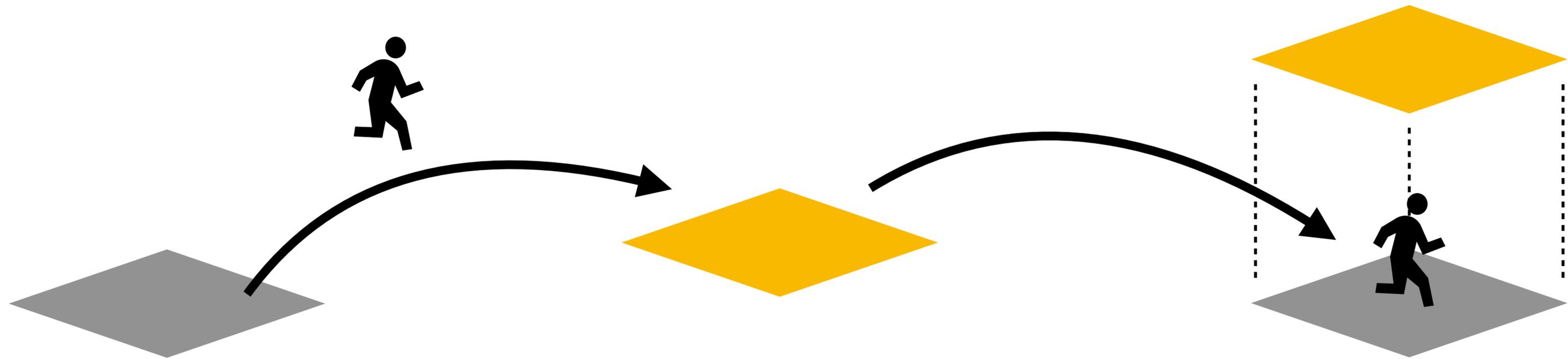


Poly Experienceモデル
(重ね合わせメタファー)

重ね合わせによるフロー

バーチャルなワーケーション

Virtual…見かけや形は異なるが、本質的には同じ



越境モデル
(移動メタファー)

越境学習、アンラーニングなど

Virtual Workation

バーチャルなワーケーション的な環境
によるフロー？

ワーカーの多様化とHaptic Valueの模索

地方との関わり

ワーケーションワーカー

フィジカル

フル通勤
ワーカー

Haptic Value

DXによる
組織・地域への愛着・一体感

オンライン

フルリモート
ワーカー

ハイブリッドワーカー

都市との関わり

人材・地域の共創のためのワーケーション

自律型人材の確保・育成

意図性・先の見通し・自己反応性・自己省察性

Bandura, A. (2006). Toward a psychology of human agency.
Perspectives on psychological science, 1(2), 164-180.

「自律」の水準が高くなるほど、「ワークエンゲージメント」「組織への共感・愛着」「不測の事態における従業員の主体的活動」は増加

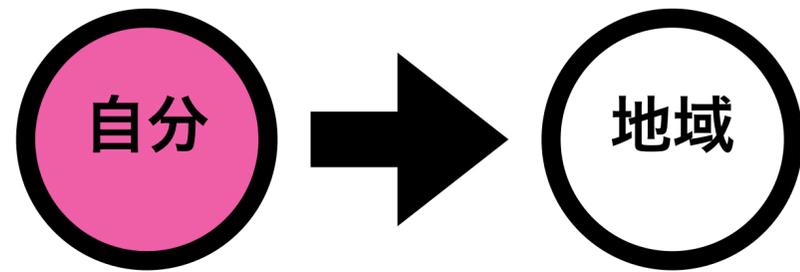
リクルートマネジメントソリューションズ「自律的に働くことに関する実態調査」
<https://www.recruit-ms.co.jp/press/pressrelease/detail/0000000322/>

人材の共創、地域の共創

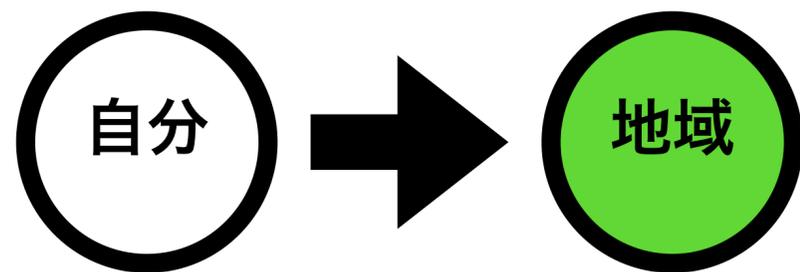
地域と地球への働きかけ

Local Tech（食、流通、金融、環境など）
SDGs, ESG, 人間主義経営など

ワーケーションにおける越境学習に効果的なRDAを考える



自分の仕事を持ち込む
ワーケーション



地域の活動に取り組む
ワーケーション

RDA

上下関係 (Rank)、異質さ (Diversity)、抽象性 (Abstraction)

※石山・伊達 (2022) 『越境学習入門』日本能率協会マネジメントセンター



地域の活動に対し
自分のできることで取り組む
ワーケーション

地域・自分が
新しいことに取り組む
ワーケーション

心地よいRDAがあるはず

働きたいように、働く社会を！

e-mail : keita-m@kansai-u.ac.jp



ワーケーションと働き方の未来